

## 未来を担う 若者を支援

創業69周年を迎えた金秀グループ(呉屋守将会長)から、西原町人材育成会(上間明会長)に対し100万円の寄付金贈呈がありました。5月27日に行われた寄付金贈呈式で呉屋会長は「素晴らしい人材育成につながるよう、今後も協力していきたい」とあいさつしました。

また、同グループの創業者で、西原町の名誉町民である呉屋秀信さん(字我謝出身)が、母校の西原中に30万円を寄付しました。

### 金秀グループ創業69周年記念寄付金贈呈式



呉屋秀信さん(左から3番目)、呉屋守将会長(右から3番目)

# わったー まちの話題



## 人材育成に貢献

オパス株式会社(與那嶺健和代表取締役)から、西原町人材育成会(上間明会長)に対し50万円の寄付金贈呈がありました。6月6日に行われた寄付金贈呈式で與那嶺代表は「町・県・国のため、人材育成に貢献したいと考えています」とあいさつしました。上間会長は「西原町の人材育成にご協力いただき、感謝します。明日を担う子どもたちの育成に活用します」と感謝の意を述べました。



與那嶺代表(左から2番目)

## 寄り添い、歩む

平岡慎之さん夫妻による講演会「うちの火星人」に気づいたとき」が、5月22日に町立図書館で開催されました。平岡さんは妻や子どもたちが発達障害と分かった際の心情や家族の日々の生活の様子、トラブル対応の仕方、言葉のかけ方などを話しました。



講演のようす

平岡夫妻

## 紙芝居で 金丸を伝える

ニシバル歴史の会(長嶺一男会長)が、西原町文化協会の組踊「内間御殿金丸」を参考にした紙芝居「金丸こそわれらが王なり」を作成しました。

子どもたちに伝わりやすいよう、紙芝居がよいだろうと、尚円王生誕600年だった昨年の9月に制作に取り掛かり、半年かけて完成させました。今後は小中学校で紙芝居を披露する予定です。

長嶺会長は「金丸をどう紹介するかを決めることに苦労しました。紙芝居を見た生徒が大人になり、組踊を見た時に理解を一層深めてくれたら嬉しい」と語りました。



長嶺会長(右から2番目)

中学校で紙芝居を披露

## 熊本のために できること

西原小学校の児童会が熊本地震への復興支援のため、5月20日から5月27日にかけて、同小正門前で募金活動を行いました。児童会は「熊本地震で被災した子どもたちのためにできることを考え、教科書やノート、洋服などいろいろなアイデアを出し合ったなかで、募金活動することに決めました」と思いを語りました。

集められた募金は「沖縄県西原町から熊本県西原村への熊本地震義援金募集実行委員会(親泊輝延代表)をおとして、6月3日に西原村長へ渡されました。



募金活動のようす

児童会と実行委員会

## じゃ口から 安心とどけ 未来まで

水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さを呼びかけることを目的として、6月1日に節水パレードを行いました。

このパレードは、西原町と西原町管工事協同組合(呉屋博幸理事長)が合同で毎年実施しているものです。町民に節水を呼びかける看板やのぼりを車に付けて町内を走り、節水をアピールしました。

パレードの出発式で呉屋理事長は、「パレードを通じて、限りある水資源の大切さを訴えたい」と抱負を述べました。また、西原町管工事協同組合から西原町人材育成会への寄付金贈呈が行われました。



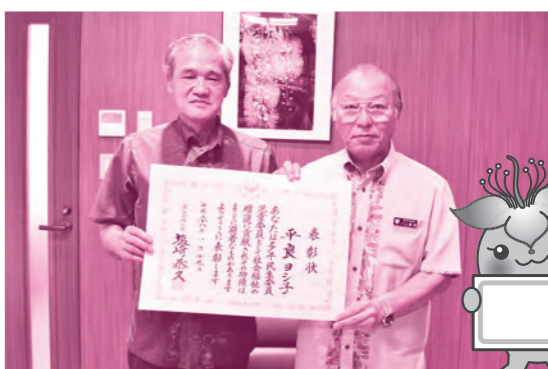
呉屋会長(左)

パレード出発します

## 平良ヨシ子さん 特別表彰を受章

長年、民生委員児童委員として活動してきた平良ヨシ子さんに対し、厚生労働大臣からの特別表彰が決定し、5月10日に西原町役場で伝達式が行われました。平良さんは25年にわたり同委員を務め、地域福祉の向上に貢献しました。また、第1民生委員児童委員協議会の会計も兼務してきました。

平良さんの代理として表彰状を受理した金城末幸さん(写真左)は「姉のがんばりが認められ、素晴らしい表彰を受章することができ、嬉しいです」と喜びを語りました。



## 新渡戸菊で 華やかに

新渡戸菊の植え付けが6月11日に、国道329号与那原バイパス沿線で行われました。この催しは、西原町新渡戸菊プロジェクト(平良正行会長)による地域づくりと美化活動の一環で、国道を花木で飾ることを目的としています。約30名が3m間隔で、90本を植え付けました。液肥には、西原町シルバー人材センターが開発した「のびるくん」が活用されました。11月頃に黄色に咲く花が満開となる予定です。



植え付けのようす

新渡戸菊の苗

新渡戸菊の花

## マリントアウンで 清掃活動

本格的な夏を迎える前にマリントアウン内の公園や道路の清掃活動を行う「ちゅら島清掃活動」が、6月11日にあがりティーダ公園周辺で行われました。町民、企業、団体など合わせて300名余の方が参加していました。

また、沖縄森永乳業(株)から飲み物の提供があり、清掃を終えた参加者の疲れを癒しました。なお、今回の清掃活動で集められたゴミの量は合計で740kg【可燃ごみ640kg、不燃ごみ80kg、資源ごみ20kg】でした。



ゴミ拾いのようす

回収したゴミ

## 人権を考える

6月1日の人権擁護委員の日に関連して、同日、西原町役場で「人権相談所」が開設されました。開設にあたり、上間明町長は「社会における人権の重要性が高まってきて、それを擁護する人権擁護委員の役割が重要になってきています」と述べました。

また、5月30日から6月3日までの日程で「人権擁護パネル展」が町民広場で開催されました。子どもや高齢者などの基本的人権に関するさまざまなパネルが展示され、多くの来庁者が人権の理解を深めました。

※町内相談機関(25ページ)を参照してください。



人権をアピール